

奇しくも、本年5月15日は沖縄本島復帰50周年の記念すべき年にあたり、何か大きなイベントでもあるのかと期待していましたが、新型コロナウィル



学校法人仙台育英学園理事長  
秀光中学校・仙台育英学園高等学校  
校長 加藤 雄彦

### 『琉球処分』と辺野古移設問題

# 図書館だより

第49号

秀光中学校  
仙台育英学園高等学校  
図書館  
印刷所 印刷機

沖縄では珍しいクスノキの木が立ち並ぶ通りと、本島の背骨を成しているスの感染が猛威を奮っていたためか、それとも東京主導の行事のためなのか、静かな日であったと記憶しています。当日は設置認可申請中の新設校にあって欠かすことのできない「勝連運動場」の用地収用に関わる業務で那覇市内の国税事務所や沖縄県庁を訪れていました。この話題を出すか冷ややかな反応しか返って来なかったことが印象的でした。

さて、1959年から琉球新報に連載されて以来、1968年に講談社から単行本を上梓するときに加筆した『小説 琉球処分』は第57回芥川賞(1967年上半期)を受賞した大城立裕氏の代表作の一つであり、講談社文庫2010年8月第1刷から2022

年1月第14刷まで版を重ねてきました。元外務省主任分析官であり作家である佐藤優氏は「日本本土と琉球とは、歴史の出発に一千年も差がつき、琉球は中世を飛び越して近世に入ったから、その後の歴史に無理を生じた」のだと論じています。「つまり、近代を準備する文化が育っていなかった」のに対して、本土では近世のなかに近代も準備されていたこと、この違いが「琉球処分」で露わになったと感じることができ

東京府知事の職にあった松田道之は伊藤博文内務卿の命により琉球処分官として訪沖します。近代日本を支える能吏松田処分官と前近代的な琉球王府高官とのやり取りを同書のなかで、(われながら、よくこれだけの根拠を身につけたものだ。五年来、何十回あるいは何百回、琉球の高官どもと談判した。根気比べの談判である。(中略) よろしい、この根気どちらが折れるか)と語っていますが、結局、松田処分官は根気比べに負け、警察力と軍勢力を背景に圧力によって琉球王国を解体しました。これが琉球処分です。

今日の課題である沖縄基地問題、とりわけ「米軍基地普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への県内移設計画」はこの琉球処分と重なることに読者は気づいて欲しいと思います。防衛省は2020年4月、地盤改良のための設計変更を沖縄県に申請しました。これに対し、県は2021年11月にこの申請を不承認しました。これを受けて、防衛省は国土交通大臣に行政不服審査法に基づく審査を請求したところ、斉藤国土交通大臣は2022年4月、審査を取り消す判決をしました。県は判決の取り消し勧告を求めた。総務省の第三者機関「国地方係争処理委員会」に審査を申し出たにもかかわらず、県の主張を退け、申し出を却下しました。8月12日に地方自治法の規定により「国地方係争処理委員会」の決定に対する提訴期限を迎えるため、翌13日、沖縄県は斉藤国土交通大臣に判決の取り消しを求める訴訟を福岡高等裁判所那覇支部で起こしました。



## 令和4年度 図書館別 貸出トップ5

～今年度はこんな本が人気でした～

宮城野校舎図書館			
	書名	著者	出版社
1位	赤と青とエスキース	青山 美智子 著	PHP研究所
2位	六人の嘘つきな大学生	朝倉 秋成 著	KADOKAWA
3位	硝子の塔の殺人	知念 実希人 著	実業之日本社
4位	星を掬う	町田 そのこ 著	中央公論新社
5位	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬 著	早川書房

多賀城校舎図書館			
	書名	著者	出版社
1位	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬 著	早川書房
2位	沈黙のパレード	東野 圭吾 著	文藝春秋
3位	元彼の遺言状	新川 帆立 著	宝島社
4位	六人の嘘つきな大学生	朝倉 秋成 著	KADOKAWA
5位	小説 すずめの戸締り	新海 誠 著	KADOKAWA

電子図書館			
	書名	著者	出版社
1位	意味がわかると鳥肌が立つ話 電子版 (5分後の隣のシリーズ)	蔵間 サキ 編著	学研プラス
2位	ビブリア古書堂の事件手帖 5 葉子さんと繋がり之時	三上 延 著	KADOKAWA
3位	5分後に意外な結末 2 青いミステリー	川端 勝 編	学研プラス
4位	ビブリア古書堂の事件手帖 4 葉子さんと二つの顔	三上 延 著	KADOKAWA
5位	5分後に意外な結末 4 黒いユーモア	川端 勝 編	学研プラス

### 図書館ガイド

●宮城野校舎図書館 場所：栄光3階  
開館時間：8：00～16：30  
休館日：土・日・祝日 他

●多賀城校舎図書館 場所：ライオンズホール2階  
開館時間：12：00～17：00  
休館日：土・日・祝日 他

●電子図書館 場所：インターネット接続可能なところ  
開館時間：24時間  
休館日：なし(メンテナンス日を除く)

各図書館からの資料の取り寄せや、電子図書との同時貸し出しも可能ですので、たくさん利用してください。リクエストも受け付けています！



# 文芸部 おすすめ図書紹介コーナー



## 仙台育英学園 文芸部とは？

広く議論を興し、下学上達に決すべし。文芸部と聞いて、皆さんは何を想像しますか。読書好きの集まり、創作小説が好きな人の集まり、などなどあるでしょう。確かに、私たちはそんな集まりです。ですが、普段は議論を中心として活動しています。ふとした疑問や意見を部で共有し、議論を通して学びを深める。それがやがて創作のインスピレーションになる。部員が互いを尊重しながら、議論しています。議論以外にも、発想のもととなるような新しい活動も取り入れています。興味がある方は、ぜひお越しください。

### 『命のビザ 評伝・杉原千畝』 白石仁章著 1T2 戸嶋夏凛

人道第一 人が何かをするとき、それが必ず正しいとは言い切れない。それは誰かにとつての救いであり、誰かにとつて不都合だからだ。完璧な悪もなければ、完璧な正義もない。しかし、それでも自分の良心を貫く人を、称賛する人がいる。杉原千畝という外交官は、世間から批判されながらも、ユダヤ人を助けた。この本では、彼の半生や、当時の世界状況などが細かく記されており、彼が生きた時代の理解が進む。後に、彼の行動は高く評価され、「諸国民の中の正義の人」という称号が贈られた。その際、彼はこのような言葉を残した。「たいした事をしたわけではない、当然のこをしただけだ。」彼のしたことは、当時の世界状況からみて外交官として間違っていたかもしれない。しかし、助けてくれと頼った何千人の人を見殺しにはできなかった。彼は戦争の状況下で、ユダヤ人の苦しみを肌で感じ、様々な葛藤の末彼らを助けた。このような人道、博愛精神はどのように培われたのか、ぜひ本書で学んでほしい。

### 『三日間の幸福』 三秋絳著 1T3 福本優陽

「未来は与えられるモノではなく、獲得するモノだから。」これはあるゲームのキャラクターのセリフである。このセリフはこのお話を開く鍵になると思う。生活するお金に困った主人公クスノキは寿命を売ることができる場所があると耳にし、そこを訪れる。しかし、寿命の査定価格が低かったクスノキは自棄になり寿命の大半を売ってしまう。その後、寿命が残り僅かの人の問題行動を防ぐために派遣された女性監視員・ミヤギに監視されながら、クスノキは残された時間で自分の幸せをつかもうと様々な行動を起こすが、旨いかなない。そして、一番の幸せに気づいた時には彼の寿命は残りわずか…。夢を見るだけで受動的だった主人公が、寿命を売り、旨いかななくても幸せをつかむために能動的に行動し続け獲得した、主人公にとって最も価値のある時間。それは、切なくもロマンチックで美しい、二人が手にした三日間の幸福だった。このお話の結末をぜひ読んで味わってみてください。

### 『名画たちのホンネ』 とに～著 1T2 高橋葵

日々の疲れをとるには、息抜きが必要だ。そこで、一風変わった「芸術鑑賞」はいかがだろうか。作品が話す愚痴や本音を通じて、作品の理解を深めるといふものだ。本書で悩みを叫ぶムンクの「叫び」や関西弁の「牛乳を注ぐ女」など名画の印象にぴったりな口調の彼らの本音を聞いて、その名画の裏話や秘密を知れば、芸術は親しみやすいと思えるだろう。実際、私も名画の技法や裏話を知ったことでより鑑賞が楽しくなった。例えば、ムンクの「叫び」。中央にいる男性は叫んでいるように見えるが、実際はそうではなく、叫び声の幻聴を聞きたくないがために耳を塞いでいるのだ。また、名画たちの口調も面白い。ルーヴル美術館で毎年600万人もの観客を見下ろす「モナ・リザ」は上から目線で話したり、点描技法で描かれているスーラの「グランド・ジャット島の日曜日の午後」は…を多く用いていたりと、作品の個性を保ったまま違和感なく話している。ポップな表紙に一作品ずつ掲載された見開き2ページの読みやすい文章量。ぜひ一読してほしい。

### 『宮沢賢治の心を読む』 草山万兎著 1T2 佐藤慎礼

宮沢賢治の「生き物はすべて兄弟」という考えのもとに書かれる作品は多くの人々の心をひきつけ、愛されています。私もまたその一人で彼の描く東北の自然や人と動物の関係性が大好きです。ただ少々難解な部分もあり、何度読んでもピンとこないということも。この本では「注文の多い料理店」をはじめとした四編の童話について、モンキー博士という異名を持つ動物学者の草山万兎さんが考察を述べています。動物がたくさん登場する賢治童話において、草山さんの動物学的な視点での考察の中には私たちにとつての新たな気づきが詰まっており、更に「この言葉のリズムいいよね」などという一読者としての草山さんの感想も混じえられているので、草山さんと自分の「好きを共有する」という楽しみ方もできます。まるで、宮沢賢治ワールドを案内人の草山さんと旅をしているように本を読み進めることができるのです。それがこの本の最大の魅力といえるかもしれません。皆さんもぜひこの本を手にとって、物語を深掘りし、宮沢賢治とその作品たちをもっと好きになれる、そんな旅にでてみませんか。

# 令和四年度 宮城県読書感想文コンクール

部会長賞 対象図書 『セカイを科学せよ!』 安田 夏菜著

## 「自分らしく生きる」

1S1 山下雄大

「自分らしく生きる。」それがこの本を読んで一番大切なことだと思った。主人公の葉奈もミハイルも何年も日本に住んでいるのに、日本人として馴染めず悩んでいた。それは「ガイジン」の境界線が二人を苦しめていたからだ。しかしこの本を読んで、自分らしく生きる為に必要な事を見つけ出せる気がする。僕は悩んでいたミハイルに大きく影響を与えた出来事が二つある事に気付いた。一つ目は葉奈の「人間は、同じひとつの『種』ですから、わたしはホモ・サピエンスって一種だけ」というセリフである。以前、ミハイルは小学校の先生に、「悪いことをしたら人一倍目立ち後ろ指をさされる。」と言われて傷ついた。それから、言動に注意してできる限り地味に暮らすと心に誓った。葉奈の自由奔放な振る舞いや言動に振り回されながらも、ミハイルは次第に自分を出せるようになっていった。トラブルにあっても、葉奈のへこたれず前向きに突き進む熱意に感化されたからだろう。人間はそれぞれ見た目や生活環境は違っても、生物学的分類ではホモ・サピエンス一択だということ。とてもシンプルで、小さな事でよくよ悩んでいた事が馬鹿らしくなる。ミハイルは自分で素直に生きる勇気を葉奈からもらったと思う。

二つ目は葉奈が蚊がマラリア等を媒介する事を知らず、勝手に学校で飼育してしまう。逃げ出した蚊に先生や友達に刺され迷惑をかけて反省する。この出来事で、周りの人に迷惑をかけた時に、失敗と捉えず学んだと捉える前向きな姿勢で、周りの人たちの事を考えながら物事を進めるようになった。僕は葉奈の生き物への大きな愛情を感じた。また葉奈は気持ちの切り替えが早く、自分のやりたい事が周りに迷惑をかけるまいかと考え、実践していく心の強さを僕は羨ましく思った。ミハイルも悩みを抱え、乗り越え方が分からないまま何とか日々を過ごしていたが、逃げる事で解決するのではなく、不安でも一歩踏み出す勇氣が大切だと気付かされたと思う。僕は小学校低学年の時、友達と意見が合わない事があった。その時、先生がお互いの話を聞いてくれた原因を明らかにしてくれた。高学年になってからは話し合いができるようになり、意見が合わない時に話し合いをして解決することができるようになった。お互いの気持ちを話し合い分かり合うことで、相手の気持ちに気付き、素直に謝ることができる。次回はしないように気をつけられるようになる。自分の思い通りにならなくても周りの意見を聞き、一番いい方法を選択できる。以上のことから、僕は「自分らしく生きること」とは、個性と協調性のバランスが大事だと思う。僕は集団の中で自分らしく個性を発揮するために、自分の意見を事前に分かりやすく説明し理解や協力を求め、相手の意見を取り入れながらと一番いい方法を選択し納得して進めていくことでより良い結果が出せると思

校長先生から生物班を続けるために課題が出され、科学部電脳班と生物班の最大級の試練が始まった。「科学とは、物事の本質についてこうではないかと考え、その考えが正しいかどうかをデータや論理を使って検証する行為」である。僕は何か難しいことだから取り掛かればいいかさっぱり分からなかった。そしてテーマが「ミジンコの心拍数を数える実験」に決まり、更に難しく増した。仮説を立て、方法を試していく過程で色々なアイデアと工夫があり、科学班一人一人が持つスキルを発揮し結論を導き出していく。蟲に詳しい葉奈の力だけでは成し遂げられなかったと思う。デジタル機器を活用しデータを録り分析できたことは電脳班みんなのおかげだ。科学部が団結し実験を成し遂げていく様子に、僕は胸が熱くなった。やっぱり仲間は大切だと改めて思った。僕は中学校でロボテックス部に入部し四ヶ月が経った。初めはロボットの組み立て方の基礎すら分からなかった。先生や先輩方、友達が一つ一つ丁寧に教えてくれたおかげで、僕は全ての工程を一人でできるようになった。これからは友達と話し合い、オスプレイのようなドローンを作りたいと思っている。物作りの面白さはイメージ通りにできた時の達成感だ。僕は人がすごいと感動し、喜んで使ってもらえる物を作りたい。ロボットの基礎から丁寧に教えてくれた先生や先輩方、友達に感謝したいと思う。

## 令和四年度 宮城県読書感想文コンクール

### 「本の探究者賞」 (年間多読賞) 結果

(4月1日～11月30日)

※1年間に多くの本を読んだ人を表彰します。期間中20冊以上(中学生は10冊以上)借りた全員が対象です。各学年上位3名(中学生は上位2名)には賞状と景品を、その他は努力賞として賞状を贈呈します。

学年	賞状	景品	努力賞
高1	1位	2位	3位
高2	1位	2位	3位
高3	1位	2位	3位

#### ■宮城野校舎

高1 該当者なし

高2 該当者なし

高3 該当者なし

#### ■多賀城校舎

高1 該当者なし

高2 該当者なし

高3 該当者なし

#### ■秀光

中1 1位

中2 該当者なし

中3 1位

■令和4年度 宮城野校舎図書館利用統計 (11月30日現在)									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
冊数(冊)	253	434	310	407	153	275	383	353	2,568
人数(人)	312	527	760	701	273	676	840	884	4,973

  

■令和4年度 多賀城校舎図書館利用統計 (11月30日現在)									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
冊数(冊)	106	139	151	239	84	134	211	246	1,310
人数(人)	244	273	457	396	156	533	739	749	3,547